

International Exchange

姉妹校交換学生

日本歯科大学新聞

東京千代田区富士見
日本歯科大学新聞会
発行兼 中原 泉
編集人 年 6 回
発行価 1部 100円
発定価 (〒951-8580)
編集室 新潟市中央区浜浦町1-8
☎ 025 (267) 1500



本学のシンボルマーク



中山医学大学口腔医学院前、周明勇理事長（中央）と本学学生（台湾）



戸谷収二病院長の両側、研修修了証をもつマンチェスター大学学生（新潟）



WELCOME 歓迎！ 菊池憲一郎歯学部長と中山医学大学学生（東京）

日本歯科大学の姉妹校交換学生制度は、学部学生の国際交流の場であり、本学独自の教育プログラムである。1986年夏にアメリカ・ミネソタ大学に学生6名を派遣し、同大学から2名を受入れたことに始まった。コロナ禍で2019年の派遣・受入れを実施した後、中断していたが、2023年の台湾の中山医学大学からの受入れと2024年の同大への派遣の再開を皮切りに、本年はイギリスのマンチェスター大学からの受入れを再開した。これまでの派遣と受入れの総計は、451名となる。

2023年 中山医学大学（台湾）
中山医学大学の学生4名は、10月2日新潟に到着した。同日のウェルカムパーティの後、新潟生命歯学部部の臨床系講座や新潟病院の各診療科を回って研修した。

休日には、新潟生命歯学部の学生と新潟市内を観光して交流し、10日に研修修了証を授与された。12日は生命歯学部部の臨床系講座と附属病院の診療科を回って見学し、15日帰国した。

2024年 台湾・台中市の中山医学大学へは、本学から両学部部の学生4名を、3月7日から14日まで派遣した。病院での研修では各診療科を回り、休日には

台北を観光した。中山医学大学の学生4名は、10月7日新潟に到着した。同日のウェルカムパーティ前夜、医の博物館を含む市内ツアーに参加した。8日から新潟生命歯学部部の臨床系講座や新潟病院の各診療科を回り、在宅ケア新潟クリニックの訪問診療見学にも同行して研修した。

休日には新潟生命歯学部の学生と新潟市内を観光して交流し、9日に新潟を去った。

2023年 中山医学大学
Mr. Chia-Liang Lin
Mr. Wei-Wen Chang
Ms. Boyun Liu
Ms. Zixian Cheng
2024年 「マンチェスター大学」

10月10日の朝刊「首相動静9日」欄に、「8時43分、参院第2別館着。歯科診療所で歯の治療。同53分同所発。」とあります。9日は衆議院解散の朝、重警護の中、刻みの受診でした。

長谷川嘉一先生 衆院選に2回目の当選！

10月27日に投票された第50回衆院選において長谷川嘉一先生（67回卒）は、立憲民主党より群馬3区で立候補し、比例区の北関東ブロック1位で当選した。

長谷川先生は、平成29年に群馬県議から衆院選に初当選し、今回は2回目の当選となる。

東京に到着した。29日のウェルカムパーティの後、生命歯学部部の臨床系講座や附属病院の各診療科を回って研修した。生命歯学部部の学生と都内で会食するなど交流した。

4日に新潟に移動し、新潟生命歯学部部の臨床系講座や附属病院の各診療科を回って研修した。6日に研修修了証を授与された後、新潟生命歯学部部

2024年 派遣学生
中山医学大学
生命歯学部 宮川 美紀
生命歯学部 吉田有輝子
新潟生命歯学部 永森 隆太
長谷川祐美

歯鏡

同院長を務め、石破茂議員は長年の患者さんです。総理になられてから、初めての治療でした。

最初の国立歯学部である東京医科歯科大学、96年の歴史が閉じられました。嗚呼！（S・N）



冬至 | 清津峡溪谷トンネル内でバンザイする日英の交換学生 | 初雪



ウェルカム・パーティで、学食に勢ぞろいした中山医学大学学生、本学学生・教職員一同(新潟)

新潟は道川教授「にいがた健活講座」が、市内の新潟日報メディアシップで、9月29日に開催された。本学新潟生命歯学部の高齢者医療学の道川誠教授が、「認知症+脳活」をテーマに歯科疾患とアルツハイマー病との関係について解説し、歯科疾患が認知症の危険因子の一つであり、歯科疾患で認知症のリスクが高まることを説いた。

歯科と認知症 研修

東京は菊谷教授 東京都歯科医師認知症対応力向上研修として、生命歯学部の口腔リハビリテーション多摩クリニックの菊谷武院長が、11月29日に「歯科と認知症+歯科医院で知る、支える認知症」を講演する。同研修は、歯科医師と歯科医療従事者300名を対象として、WEB開催…ライブ配信により実施される。

先に国際ギネス委員会より、ギネス世界記録に「最高齢の歯科医師(男子)」として認定・登録された渡邊悦郎先生(40回卒・山梨県)は、内閣府より令和6年度エイジレス・ライフ実践者として、エイジレス章を授与された。

エイジレス・ライフ実践者とは、年齢にとらわれず自らの責任と能力の下で、生き生きとした生活を送る高齢者をいう。晴れの授与式は、9月24日に山梨県庁において挙行され、渡邊先生に書状・記念楯が授与された。

ギネス渡邊悦郎先生 内閣府よりエイジレス章受く

新潟生命歯学部の長田敬五教授の最終記念講義は、8月30日に新潟生命歯学部講堂において開催され、多数の教職員・学生が聴講した。

新潟生命歯学部の長田敬五教授の最終記念講義は、8月30日に新潟生命歯学部講堂において開催され、多数の教職員・学生が聴講した。

長田教授(新潟) 最終講義



演題は「振り返れば、そこに」。1時間の講義終了後、藤井一維学長より記念楯、中原泉理事より花束が贈呈された。



A4版/372頁/定価5,500円(税込)
ISBN978-4-87078-208-2

一世出版株式会社
<https://www.issei-pub.co.jp>

中原 泉 編著 平成時代の歯科教育改革の証言を総括した記録集 平成の歯科教育改革